

TEX によるレポートの書き方

1年2組 99番 桂田 祐史

2017年4月22日

目次

1	はじめに	1
2	TEX の解説本	1
3	まとめ	1

1 はじめに

最初はこんな風に「はじめに」や「序」などの見出しのイントロを用意する。

2 TEX の解説本

現在 L^AT_EX を使うための定番の解説書は、奥村・黒木 [1] である。

TEX の開発者自身による解説としては、クヌース [2] がある。基本的な設計思想を知りたい場合は必読書であるが、現在は購入が困難である。

3 まとめ

レポートや論文の最後は、「まとめ」や「結論」や「将来の課題」などで締めるのが普通である。

必要最低限のことを覚えたら、後はどんどん使ってみるのが良い。我流に陥らないように、あまり遅くならないうちに、一度詳しい人に見てもらって添削してもらおうのがお勧め。

参考文献

[1] 奥村晴彦, 黒木裕介, L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門 改訂第7版, 技術評論社 (2017).

[2] ドナルド・E. クヌース著, 鷺谷 好輝訳, TEX ブック — コンピューターによる組版システム, アスキー (1992).